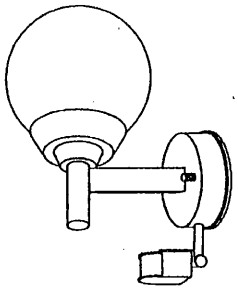
MITSUBISHI

三菱白熱灯器具

白熱灯ブラケット(防雨形)

形名 WL2673

(人感センサー・明るさセンサー)



このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきましてありがとうございます。

お客さまへ

■ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくためこの取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

取扱説明書

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、⚠警告 ⚠注意の表示で区分して、説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

- ■器具・ランプを水洗いしない 火災・感電の原因
- ■異常時は電源スイッチを切る (煙がでたり、変な臭いがしたら、すぐスイッチを切る) 火災・感電の原因
- ■布や紙など燃えやすいものをかぶせない 火災の原因
- ■お客様自身で分解・改造はしない 火災・感電の原因
- ■引火する危険のある雰囲気で使わない (可燃性スプレーを吹き掛けない) 火災の原因

⚠注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- ■電気工事はしない 有資格者に取付けを依頼 感電の原因
- ■高温(40℃以上)な場所では使わない 落下・感電・火災の原因
- ■グローブを真っ直ぐに取付ける 斜め取付け・不完全な取付けは、落下・感電の原因

ランプの交換のしかた

⚠注意 電源を切ってください。感電の原因になります。

(1)グローブを左に回わしてはずす。
(2)ランプを交換する。
(3)グローブを右に回し確実にねじ込む。

⚠注意

- ■ランプのガラス、口金部分を強くねじらない ガラスの破損によりけがの原因
- ■器具表示の指定W(ワット)数を超えるランプは絶対使用しない 過熱して火災の原因
- ■ランプに塗料などを塗らない ランプが過熱、破損してけがの原因
- ■点灯中および消灯直後のランプは触らない 高温のためやけどの原因
- ■使用済みランプは不用意に割らない ガラスの破片が飛散しけがの原因

お手入れ

⚠注意 電源を切ってください。感電の原因になります。

器具の汚れは、柔らかい布をぬるま湯か、うすめた中性洗剤につけ、よくしぼってから拭きとってください。
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯などは使用しないでください。

⚠注意
安全にご使用頂くために半年に一回の保守・点検を行ってください。

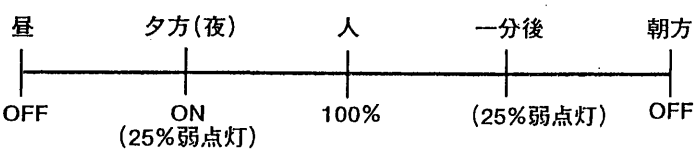
仕様

形　名	定格電圧	消費電力	適合ランプ	口　金
WL2673	100V	57W/弱点灯時(18W) /消灯時(0.5W)	60W形ミニクリプトンランプx1	E17

〈1〉弱点灯設定モード
- ●[6時間] 暗くなると弱点灯し、その状態で6時間点灯し消灯します。いずれの状態でも、人を検知すれば徐々に強点灯します。
- ●[連続] 暗い時は必ず、時間にかかわらず弱点灯します。この状態で人を検知すれば徐々に強点灯します。
- ●[なし] 暗くなっても弱点灯はしませんが人を検知すると徐々に強点灯します。

〈2〉明暗センサー設定調節
調節範囲内で点灯照度の調節ができます。

〈3〉強制点灯の場合
壁スイッチをOFF→ONと約3秒以内に連続操作すると、人がいるいないにかかわらず自動的に8時間の強点灯、その後自動モードに復帰します。
やめたい場合は、一旦スイッチをOFFにし、しばらく(5秒以上)してからONにすると、センサー作動状態になります。



- ●夕方暗くなると、自動的に弱点灯で点灯します。
- ●検知エリア内に人が入ると徐々に100%点灯、人がいなくなってから60秒後に弱点灯状態にもどります。
- ●朝方明るくなると、自動的に消灯します。
- ●検知エリア内に小動物が入っても検知することがあります。

注) 電源ONまたは停電後などは、センサーが正常に動作するまでに約30秒間かかります。(この間は点灯状態となります。

保証とアフターサービス

○修理・取扱いのご相談は、お買上げの販売店へお申しつけください。
転居や贈答品などでお買上げの販売店にご依頼できない場合は、別紙の「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口のご案内」で、
・修理のお問合わせは「修理窓口」へ
・その他のお問合わせは「ご相談窓口」へ

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
神奈川県鎌倉市大船2－14－40
TEL(0467)41－2726
(住宅照明センター営業グループ)

施工者さまへ
■施工の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
■取付工事の後、必ずお客様にお渡しください。

施工説明書 ■電気工事には電気工事士の資格が必要です。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、⚠警告 ⚠注意の表示で区分して、説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

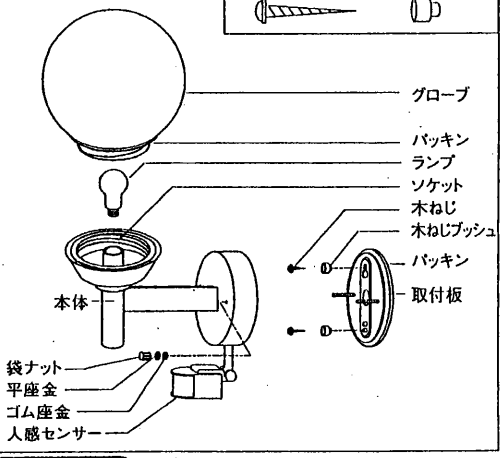
■施工に関しては内線規定・電気設備の技術基準に従ってください。
■取付面に凹凸がある場合は、電源線引込口から水が入らないようパテなどをつめて取付ける。凹凸のままの場合は、絶縁不良により感電・火災の原因

⚠注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■ドアの開閉で当たる部分に照明器具を取付けない 破損して落下の原因
■強い振動・衝撃のある場所で使わない 器具破損により落下の原因
■風呂場など、湿気の多い場所で使わない 火災・感電の原因
■高温（40℃以上）な場所では使わない 落下・感電・火災の原因
■グローブを真っ直ぐに取付ける 斜め取付け・不完全な取付けは、落下・感電の原因

各部のなまえ

附属品
木ねじ2本　木ねじブッシュ2個

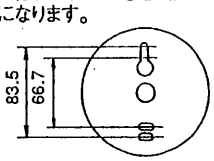


電気工事

⚠注意　電源を切ってください。感電の原因になります。

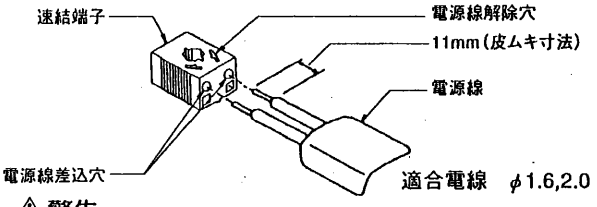
1 電源線をパッキンと取付板の中央の穴に通す。

2 附属の木ねじ2本と木ねじブッシュ2個でパッキンと取付板を壁のしっかりと補強された部分に取付ける。



⚠注意
■板厚の薄い所や強度的に不十分な所に 取付けない。落下の原因
■指定方向以外の向きに器具を取付けない。落下・感電・火災の原因の原因

3 電源線を接続する。



⚠警告
■電源接続の際は、電源線を張った状態としない。
接続不良による発熱で火災の原因
■指定太さの電源線を指定長さに被覆を剥がし1本ずつ速結端子の奥まで差込む。差込み不十分は、接触不良により感電・火災の原因
■アース工事を確実に行う。不完全な場合は、感電の原因

4 アース工事を行う。

5 本体を袋ナット、平座金、ゴム座金各2個で確実に固定する。

⚠警告
器具取付けの際は、電源線を挟まない。火災・感電の原因

グローブ・ランプの取付けかた

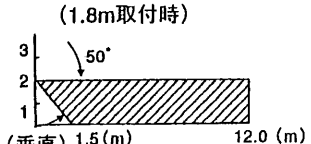
1 ランプをソケットにねじ込む。

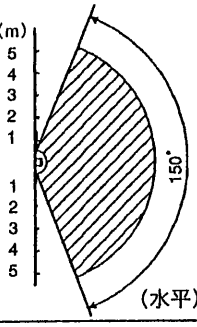
2 グローブを本体に確実にねじ込む。

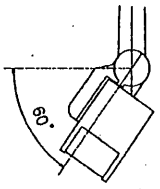
⚠注意
グローブを真っ直ぐに締め込む。
斜め取付け・不完全な取付けは、水・水気の侵入により感電・落下の原因

センサー検知エリア

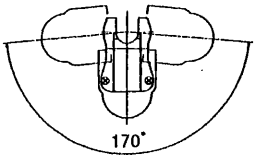
（1.8m取付時）

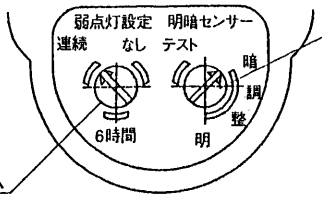






センサーは垂直に60°
水平に170°可動





弱点灯設定ボリューム

明暗センサー設定ボリューム
右半分の位置で点灯照度の調節ができます。
［テスト］周囲の明暗に関係なく、人体を検知すると点灯しますので施工後の確認に御利用ください。
確認後は元にもどしてください。

［6時間］暗くなると弱点灯し、その状態で6時間点灯し消灯します。
いずれの状態でも、人を検知すれば徐々に強点灯します。
［連続］暗い時は必ず、時間にかかわらず弱点灯します。
この状態で人を検知すれば徐々に強点灯します。
［なし］暗くなっても弱点灯はしませんが人を検知すると徐々に強点灯します。

取付場所へのお願い

●昼間でも暗い場所（木かげ・ひさしの下等）に取付けますと、早く点灯・遅く消灯することがあります。
●夜間でも明るい場所（隣地や他の照明の光が当たる場所）への取付けはお避けください。点灯しないことがあります。
●風等でよく揺れるのれんや、植物等が検知エリア内にある場所への取付けはお避けください。検知しないことがあります。